

子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業

～いろんな森に触れて自然の姿を学び、木の利用を体験しよう～
天然林・人工林を歩き、間伐を体験

京都地区・地区委員水口征親、指導者グループ代表篠部幸雄

【事業のポイント】

- 天然林・人工林を観察しながら安祥寺山(活動拠点)までハイキング
- 琵琶湖疏水の見学
- 日向大神宮で岩戸くぐりを体験
- 動物(シカ・イノシシ)の痕跡を見つける
- 安祥寺山(活動拠点)で森を育てる作業を体験
間伐作業・丸太切り・樹皮の皮むき作業
- 溪流沿いの林道で台風被害の倒木の様子を知る



オリエンテーション

1. 事業の趣旨

(1) 趣旨

小学校の学習指導要領における自然体験活動を通じた教育課程の趣旨を確認しつつ、何より、子供たちが楽しく、安全に、そして、主体的に目標達成に向かって活動できるよう企画され、地域を担う人材の育成につながる。全国的かつ継続的な自然体験活動推進事業を実施することにより、子供たちの健全な心身を育む

2. 実施概要

(1) 構成団体(運営体制)

FIJ関西支部-京都地区指導者グループ

(2) 開催実績

月日	場所	参加者数	日帰り・宿泊	経費	主な活動
10月18日	東山トレイル ～安祥寺山	8名			自然観察、ウォーキング、間伐・玉切り作業
/					
/					
/					
/					
/					
/					
/					

※必要に応じて枠を広げたり、行を増やしたりするなどして記載してください。

(3) 具体的な取組の概要



植物観察



間伐材の枝払い作業



丸太切り作業

3. 成果と課題

(1) 事業の成果と課題

街に近い森林でありながら、天然林・人工林など多様な森林を身近に感じ、イノシシのいた痕跡や野鳥の声、サワガニなど森林の中の色んなものに出会えました。また、林業を知らない子どもたちが、自らノコギリを使って立木を伐採するという体験は、大人でもできない体験で貴重なものです。いつか、林業というものを知ったときに生かされるはずだと考えます。

参加した子供たちはみんな「楽しかった」との感想でした。全5回のプログラムのうち3回申し込んでいた子どもが全部参加したいと述べてくれました。今回の活動は子ども8名でしたが、次回は20名程の参加予定者が見込まれるので、安全対策やスケジュール管理を徹底して行いたいと思います。

間伐作業

